

教材の提供

課題探究学習のメソッドとしてのPBLの特徴について簡単に述べました。ここで大事なことは、ディスカッション、リサーチ、プレゼンテーションのしかたを技法として訓練しなければ、結局は、内実を伴わない活動になってしまうということです。そこで、PLESでは、以下のようなディスカッション、リサーチ、プレゼンテーションの技法を学ぶための教材を開発し、ワークシートのような形式で提供しています。

ディスカッション(discussion)の特徴

ディスカッション(対話) = "collaboration game"

協働でアイデア(新しい意味)を創出する作業である。



目的に応じて「立場表明型」「問題解決型」「意味創造型」などの種類がある。

立場表明型のもはディベート的な要素が強く、問題解決型、意味創造型のもは、コラボレーションによる意味創造が求められる。

生きる上でリサーチは必要

リサーチは研究者のやることでは？
だれでもリサーチは行っている(例、価格比較、味比較、大学比較、会社比較、幸福度比較など)。

人間は比較する動物である。

他に人はどんな比較をするかリストしてみよう。

比較することがリサーチの出発点



NOTES • IDEAS

IMPORTANT

IMPORTANT

NOTES • IDEAS

Sample

実例: Aの「刑務所とは観光資源である」が生まれる過程

コトバの流れ	A君の心の動き
T: 「刑務所って何ですか」	<つまらない質問だな>
B: 「犯罪者を成める場所です」	<当たり前じゃないか>
T: 「まあそうですね。Cさん?」	<Tは何を期待してるんだ? >
C: 「安い家具製造所です」	<なるほどね>
T: 「確かにそうですね。Dさんは?」	<彼はどういうんだろう?>
D: 「価値が下がる痛(しゃく)の種です」	<ほう、確か彼は府中出身だ>
T: 「いいですね。Aさんは?」	<いよいよ俺か。網走なら…>
A: 「観光資源です」	<わかるかな?>
T: 「網走の住人にとってはそうですね」	<この講師、結構いいね>

講師と4人の受講生。Aの心の動きに注目。
受講生Dのコトバにも注目しよう。
DのコトバがAの反応のトリガーになっている。

IMPORTANT

NOTES • IDEAS